

参考資料

○門川町都市計画マスタープラン用語集

※パブリックコメント(p3)

公的な機関が、規制の設定などにあたって案を広く公に公表し、得られた意見や情報などを考慮した上で意志決定を行う手続きのことです。日本では、意見公募の手続き自体を指す言葉としても用いられています。

※DID(Densely Inhabited District) (p22)

人口が集中している地区を意味します。国勢調査において設定される地区であり、人口密度が1平方キロメートルあたり4,000人以上の基本単位区などが互いに隣接して、それらの隣接した地域の人口が5,000人以上となる地区が該当します。

※コーホート要因法(p46)

人口変動要因である「自然増減(出生・死亡)」と「転出入」の将来値を仮定し、その数値を踏まえた将来人口を推計する方法です。

※ユニバーサルデザイン(p84)

年齢や障がいの有無、国籍などに関わらず、全ての人が利用可能であるように計画・設計することをいいます。

※ライフサイクルコスト(p85)

建設費用だけでなく、建設後の補修・改修といった維持管理費用などまでを含んだ、施設寿命期間中に必要な総費用のことを指します。

※アセットマネジメント(p89)

資産を効率よく管理・運用することを指します。近年では公共施設を資産として捉え、計画的に効率よく管理することで、低コストで維持・補修・新築していく考え方などとして用いられます。

※シーニックバイウェイ(p95)

シーニックは景色、バイウェイは寄り道・脇道の意味です。地域に暮らす人が主体となって、行政や事業者・民間団体などと連携を図りながら、魅力ある観光空間づくり・景観づくり・地域づくりを目指す取り組みのことをいいます。

※フットパス(p95)

地域に「昔からある風景」を楽しみながら歩く(フット)ための小径(こみち:パス)のことをいいます。イギリスが発祥の取り組みですが、近年では国内のさまざまな地域で、取り組みが進められています。



※セットバック(p119)

建築物を後退させるという意味です。本計画では重点整備地区（漁業集落地区）において、建物を建て替える際に、計画道路の境界線まで建築物を後退させて建ててもらうことを示しています。